

前回会議の配付資料に係る質問について

質問 1

項目	特別支援教育の充実 実績欄（資料4 47ページ）
質問	○巡回教育相談は平成29年度からは、パートナーティーチャー派遣事業に移行したと言う事でしょうか。 ○対象児童数が大幅に増加していますが、学校側にとって効果的な事業であると捉えられているということでしょうか。
回答	○ご質問のとおり、事業は移行しております。 ○パートナーティーチャー派遣事業については、派遣された教員と担任教員等が個別に支援計画等を作成する事業であり、件数が伸びているとおり、より効果的な支援につながっているものと考えております。

質問 2

項目	児童発達支援・放課後等デイサービスの充実（資料4 47ページ）
質問	○「のぞみ園」のみの記載となっておりますが、民間の「とらい」（市内3か所）は記載しないのでしょうか。 ○上段に保育所等訪問支援、障害児相談支援の記述があるので、各々について実績数を知りたいと思います。
回答	○市が取り組んでいることとして、直営の「のぞみ園」についてのみの記載とします。 ○保育所等訪問支援の実績 H28：1人、H29：6人、H30：1人 R1：9人（R1.11.30現在） 障害児相談支援の実績（のぞみ園） R1：60人（R1.11.30現在）

質問 3

項目	障害児入浴サービス事業の実施（資料4 47ページ）
質問	○関係者の長年の要望が実現した事業ですが、利用者2名は少ないと感じました。 他のサービス（訪問入浴3名）を利用しているか、利用しにくさがあるのか等理由は分かりますか。
回答	本事業の対象となる重度障がい児の多くは、障害福祉サービスや障がい児通所支援を利用しており、相談支援専門員のサポートのもとサービスを利用しております。現状、サービスが利用しにくい等のご意見はありませんが、生活の困り事に対する相談体制は整っておりますので、利用希望があれば、対応することは可能となっております。

質問 4

項目	子どもの活動と安全に配慮した環境整備（資料 4 19 ページ）
質問	○「・・・環境を整備した」と記載されていますが、アンケート結果では雨天時でも遊べるような施設を希望する声があります。 （休日・雨天時の活動施設希望 55, 9%小学生、45.7%就学前） 市側のまとめ方にアンケート結果が反映されていないように思いました。
回答	ご指摘のとおり、アンケート結果では雨天時の活動施設の設置に関するニーズが高くなっています。しかし、本市の財政状況を考慮すると、新規施設の建設は難しい状況です。 そのため、都市公園のほか、雨天時でも活動できる児童館や子育て支援センターの取組を進め、子どもの遊び場や居場所づくりを進めてまいります。

質問 5

項目	教育相談・いじめ相談の充実（資料 4 29 ページ）
質問	○職員 2 名配置とありますが、実績をみると利用件数が低くなっています。利用が少ない理由は何でしょうか。例えば、困っている子がいないのか、他を利用しているのか、気軽に利用しにくいのか等 【来室相談者数】 29年：1名、30年：4名 【電話相談】 29年：4件、30年：4件
回答	学校において不登校に対するきめ細かい対応を行ってきた結果、専門相談員への相談件数が減少してきているものと考えております。 教育委員会より学校に対し、年 4 回程度、不登校の対応等に対する情報提供を行っているほか、教員を対象とした研修を実施し、不登校等への対応について向上を図っております。

質問 6

項目	子育てに配慮した環境整備（資料 4 39 ページ）
質問	○赤ちゃんルーム設置事業を廃止としています。ここでいうニーズ調査は実際の利用人数調査のことでしょうか。
回答	「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」の最後から 2 番目の設問（登別市に望む子育て支援策）で、「公共施設の授乳室設置箇所の拡充」を希望すると回答した方の人数です。この結果やこれまでの利用実績等を基に、既存の公共施設への新たに授乳室を設置する事業を廃止することとしました。 現在、図書館と似た 21 に設置しております授乳室につきましては、継続します。 ○利用実績 H29：似た 21 21 人、図書館：10 人 H30：似た 21 28 人、図書館：1 人 ○設置の拡充を希望するを選択した人数：74 人（17.6%）要望順位：11 番目